

麻布大学による市民の声分析業務結果報告会

大学生が、市に寄せられた「市民の声」を分析し、傾向把握、事業の課題発見につなげるために実施しています。

- ・ 実施日：平成 27 年 11 月 11 日（水曜日）午後 1 時 20 分～2 時 50 分
- ・ 会 場：相模原市役所 職員会館 4 階会議室
- ・ 参加者：麻布大学 生命・環境科学部 大倉准教授及び学生 5 人



報告会の主な内容

学生からの報告（一部抜粋）

「市民の声」を「態度」によって分析、最終的に 5 つのテーマに絞り込み、傾向分析と課題の抽出を行った。

子育て・労働分野

- ・ 子育てと女性の労働

教育分野

- ・ 図書館のマナーや利用改善
- ・ 教育の見直しやケア
- ・ 道徳教育とネットの利用方法

医療・介護分野

- ・ 医療アドバイザーを設置
- ・ 年未年始の救急病院の対応
- ・ 任意の予防接種の援助
- ・ 高齢者のバス費用

都市環境について

- ・ 道路に関するバリアフリー化などの整備
- ・ 街の美化活動や歩きタバコの取り締まり強化

環境分野

- ・ 野生生物の被害対策
- ・ その他、街路樹や路上喫煙、廃棄物処理に関する要望や提案

学生の感想（一部抜粋）

- ・1件1件目を通すことは大変であったが、市に届く生のデータを見られたことは有意義であった。
- ・あらためて、市民がこのようなことを考えているということが分かった。
- ・相模原市以外の要望なども多く寄せられていることに驚いた。
- ・道路関係の問い合わせで「ありがとう」というお礼のお言葉もあった。市に届くことは少ないかもしれないが、市の対応に満足している人がいることも分かった。

先生の感想（一部抜粋）

- ・生活様式が変化や多様化している中で、それに対応する市は大変であると思われる。
- ・市民の声を生かしていくことは、自治体としての21世紀モデルになるのではないか。